



#私たちの推し条文

新企画・第1回

## 第24条

（家族生活における個人の尊厳と両性の平等）

①婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない。②配偶者の選択、財産権、相続、住居の選定、離婚並びに婚姻及び家族に関するその他の事項に関しては、法律は、個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して、制定されなければならない。

自分が好きな憲法の条文を選んで『#私たちの推し条文』について、自分の言葉で伝えていきます。いろんな角度で日本国憲法の深掘りをしましょう。

### ジェンダー平等が条文に 安心を与えてくれる

私が憲法の中でもっとも身近で大切だと思うのは、「憲法24条」です。女性部の役員をしているので、ジェンダー平等をうたった条文を大切に想うということはあると思います。それに加えて、私たちが生活するうえで「家族」がもっとも身近な存在ではないでしょうか。

しかし、そこに「平等」ということがなくては安心して生活できません。この条文は私たちに「安心」を与えてくれている条文ではないかと思ふのです。

### 「個人の尊厳と平等」 いいね！選択的夫婦別姓

憲法24条の1項では、「夫婦は平等で、婚姻は相互の協力により維持するもの」と規定され、2項で家族に関しては、個人の尊厳と平等に基づいて法律を制定しなければならないと規定されています。「相互の協力」「個人の尊厳と平等」を夫婦や家族の間でも大切にしたいと思ひ、結婚も人前式を選んで、憲法24条を



生田千鶴さん  
(八尾市職労)

読み上げました。若いうちはワンオペだったこともあったけど、今は夫の方が家事をしてくれています。私も家庭を維持するために「がんばらなくちゃ」と思っています。あとはもう少しコミュニケーションとれたらなあ。そう言えば、私が入籍の際、じゃんけんで負けて夫の姓にしました。職場では旧姓使用していますが、夫婦別姓も選べるようにしてほしいですね。そう願っています。

#### 【解説】

選択的夫婦別姓は、結婚時に夫婦同姓か別姓かを選択できる制度です。国際的には多くの国が採用しています。日本でも世論調査で18〜29歳の賛成が8割に達する一方で、家族の一体感を損なうと懸念する慎重論も根強くあります。法律で結婚時に夫婦同姓の義務付けは日本のみです。

## 「16」が「えい」が

# 「父と家族とわたしのこと」

### 今も続く戦争の傷跡と向き合う人々を 見つめるドキュメンタリー



戦後80年。  
トラウマが、静かにほどけ始める。

阪急「淡路駅」の近くで、喫茶店を経営する美千代さんは元保育士で、明るい飲みっぷり。でも、飲みながら話す内容は壮絶。お父さんはお酒が入ると家族に暴力をふるい、夜も安心して眠った記憶がありません。いつでも逃げられるように服を着たまま布団に入っていました。9歳でお父さんが亡くなったとき、「これでゆつくり眠れる！」とバンザイまでしました。でも、自分が親になって子どもに暴力をふるったとき、この暴力の連鎖の原因を考えます。お父さんの葬儀のとき、親戚の人たちが「お父さんは戦争に行つて、人が変わった」と言うのを覚えます。

ていて、お父さんの戦歴を調べます。戦後、抑留されていたシベリアにも行き、収容所の跡地で「お父ちゃん」と叫ぶところでこのドキュメンタリーは終わります。父親を恨むだけではなく、なぜそうなったのかということを理解できたから「お父ちゃん」と思わず呼んだのではないのでしょうか？ シングルマザーの女性は、母親から虐待を受けていたことでトラウマになつていますが、その母親も戦場から帰ってきた自分の父親から虐待されていた歴史があるとわかりました。戦争のPTSDが今の時代に続いていきます。映画では、アメリカで、ベトナム戦争やイラク戦争から生還した青年の自殺が戦死者の数倍に上っている事実も紹介されています。

9月には、ベトナム戦争後のPTSDに苦しむ、日本の憲法9条を知って平和活動家になったアレン・ネルソンさんを描いたアメリカ映画も上映されます。

## Culture Navi かるちがーナび

### 作りませんか



#### 豚肉と茎わかめの炒め煮

貝塚市職労 瀬戸 真一さん

協力：現業評議会・給食部会



#### 材料（4人分）

豚肉100g、細切り茎わかめ40g、にんじん60g、油適量、濃い口醤油12g、砂糖8g、酒8g、顆粒だし少々、水20g、ごま油適量

#### 作り方

- ①豚肉は3cm幅、にんじんは千切りにする。
- ②油を熱し、豚肉を炒める。
- ③にんじんを加えて炒め、ある程度火が通ったら茎わかめを入れ、さつと炒め合わせ、水・顆粒だしを加えて煮る。
- ④中火にし、合わせておいた調味料を入れ、汁気がなくなるまで煮、ごま油を入れて仕上げる。

## 心に響くひとこと

「デモをする社会」は続く

高重治香  
(朝日新聞文化社説担当)

「デモをして社会を変えられるのか？」と問われた哲学者の柄谷行人は「デモをすることによって社会を変えることは、確実にできる。なぜなら、デモをすることによって、人がデモをする社会に変わるからです。」と答えたといいました。デモは「表現の自由」として憲法21条によって保障され、民主主義に欠かせません。ところが、国家情報局やスパイ防止法ができれば、一人ひとりが監視され、デモをしなくなる社会になるおそれも。そんな社会は長続きしません。

## 今月の記念日

5月20日  
森林の日

5月20日は「森林の日」。森林という漢字には木という字が5つ入っており、総画数が20画であることにちなんでいます。制定したのは村名の頭に「美」の字がつく全国10村で結成された「美し村連邦」。毎年持ち回りで会議を開き、自然の保護や過疎、高齢化対策をテーマに活動をしていました。平成の大合併でほとんどの村が消滅したため「連邦」は2003年に解散しましたが、記念日はいまでも存続しています。